

伊豆シャボテンリゾート

2024年3月期

第2四半期 決算説明資料

事業説明（事業の拡大）

【レジャー事業】

- 日本全体が新型コロナウイルスの影響から抜け出しつつある昨今、レジャー事業の業績もコロナ前の状態に回復し、今期はコロナ前の業績を上回る結果を残すべく、チャレンジ元年と位置付け、事業の伸長・拡大を実現。

【アニタッチ事業】

- 21年10月に、アニタッチ事業を開始。多数メディアの取材（放映など）を通じ、当初の想定を上回る反響を得たこともあり、今期から、計画的に出店を拡大。23年11月に5店舗目を静岡に出店。

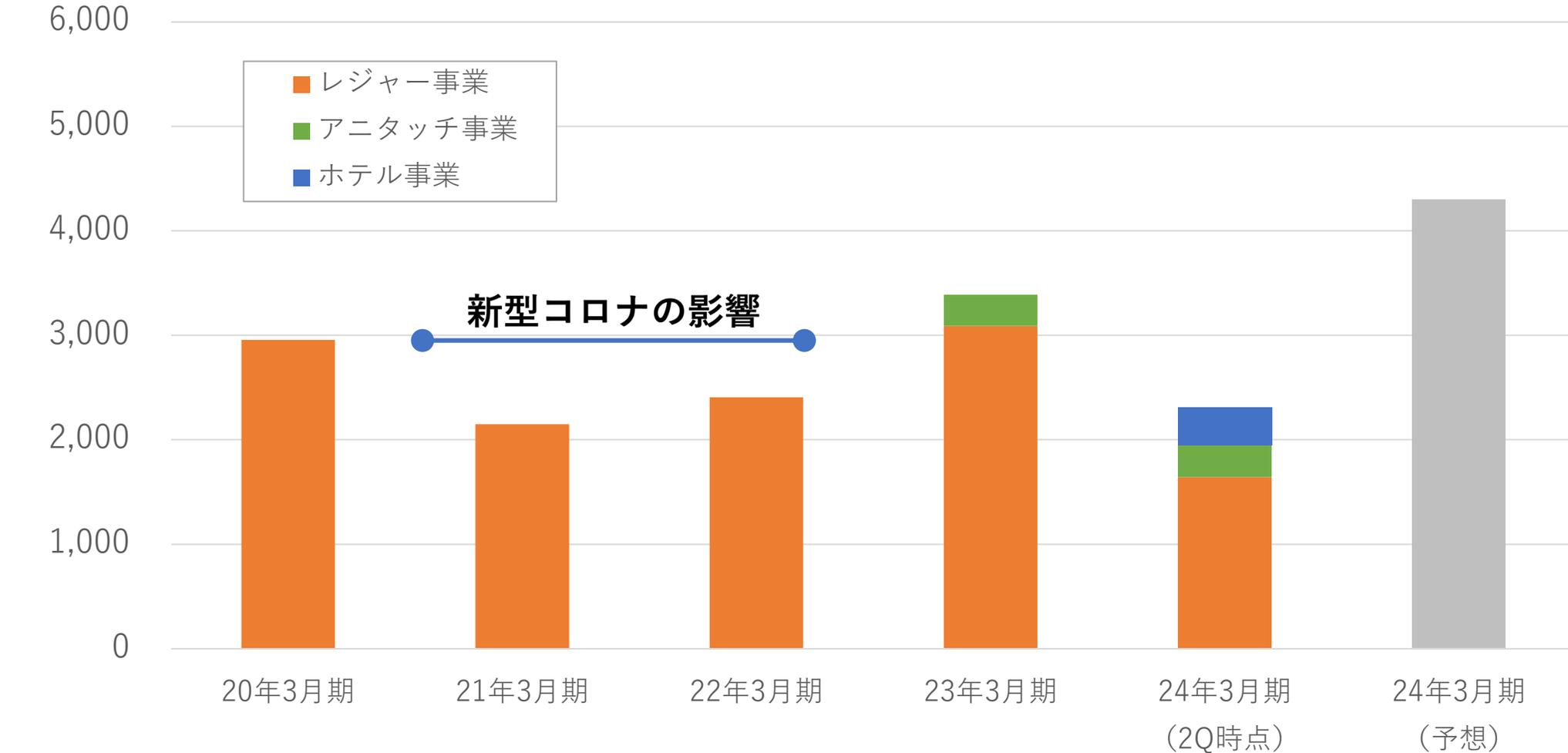
【ホテル事業】

- 23年4月に、弊社第三の事業としてホテル事業を開始。レジャー事業との相乗効果を図りながら、ホテル（スカイヒルホテル伊豆高原）をリニューアルオープン。ホテルの運営に加え、新たに開始したグランピングが流行を捉えて好調。

- 【売上高推移】

(2020年3月期～2024年3月期 (2Q)) * 24年3月期予想含む

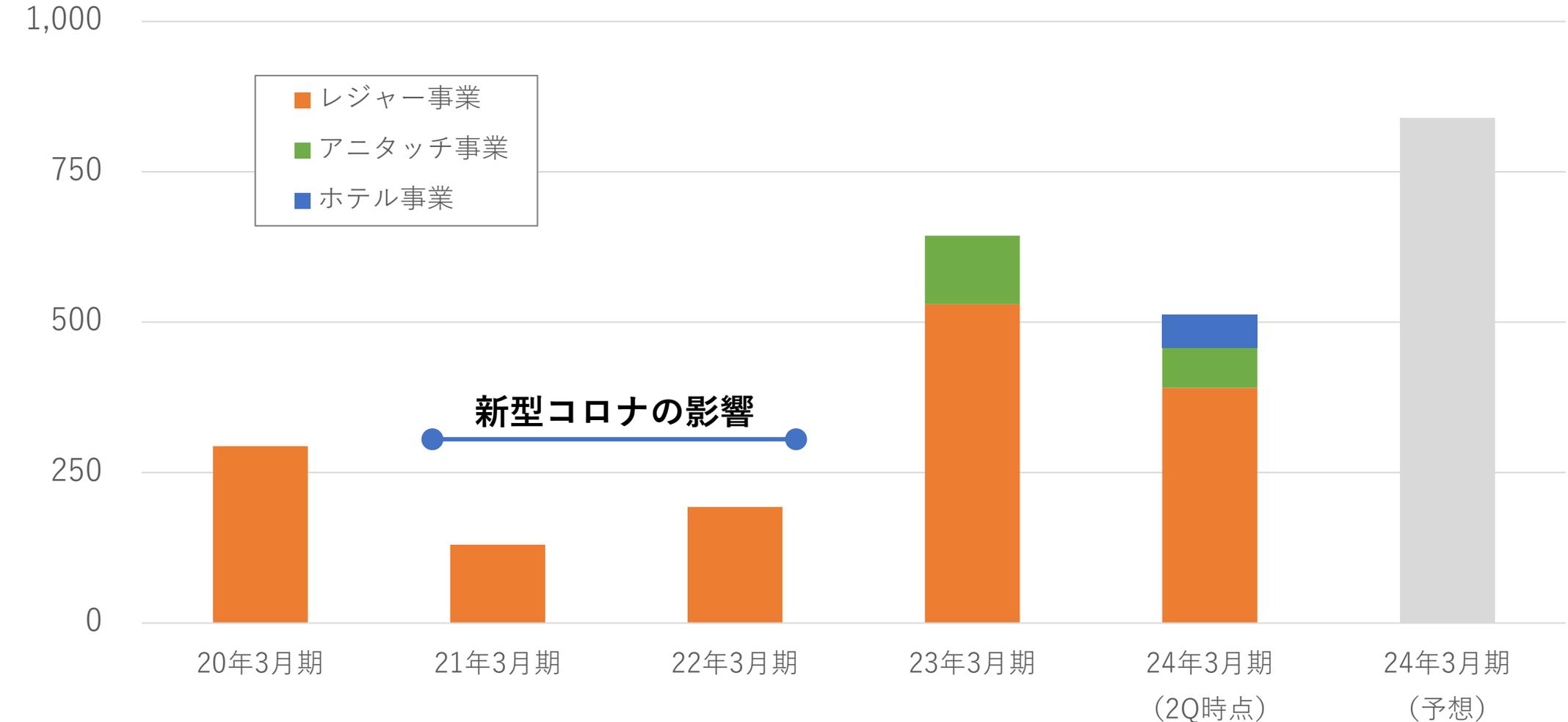
単位：百万円



【セグメント利益推移】

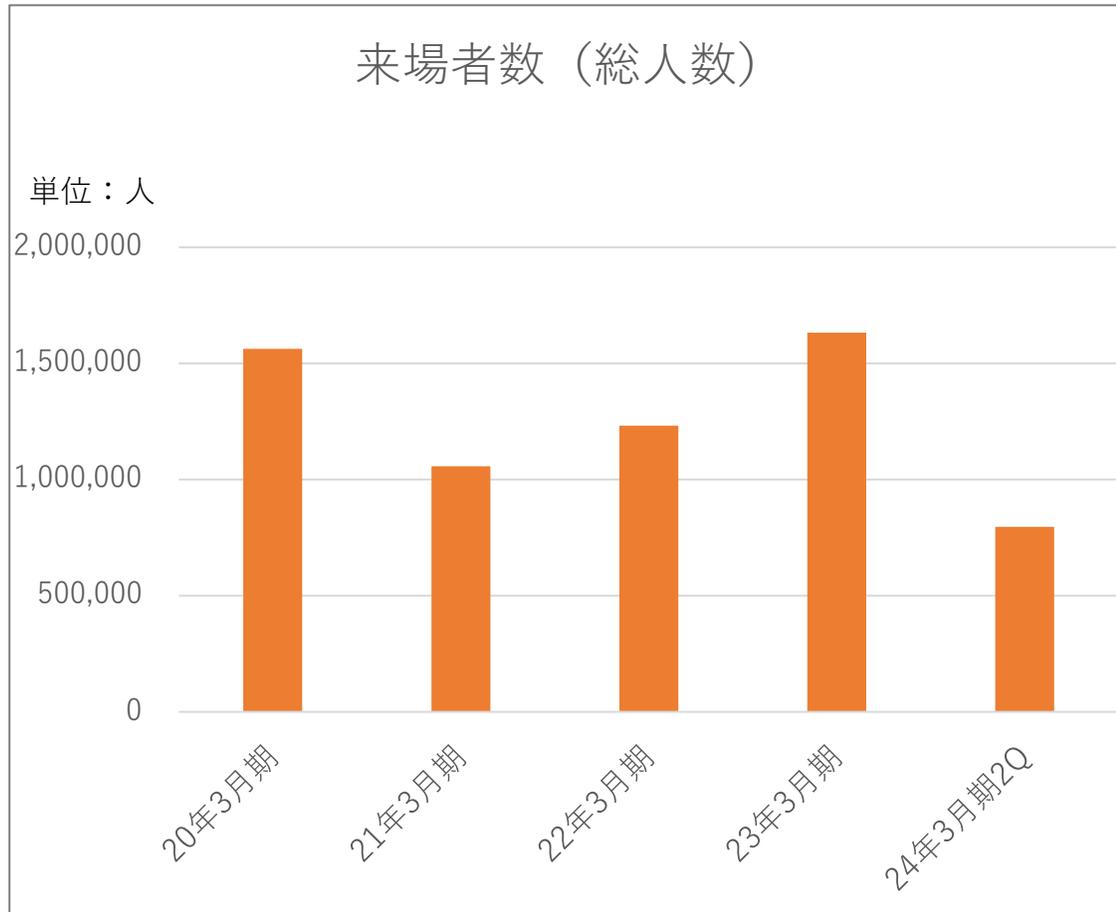
(2020年3月期～2024年3月期 (2Q)) * 24年3月期予想含む

単位：百万円



【レジャー事業】

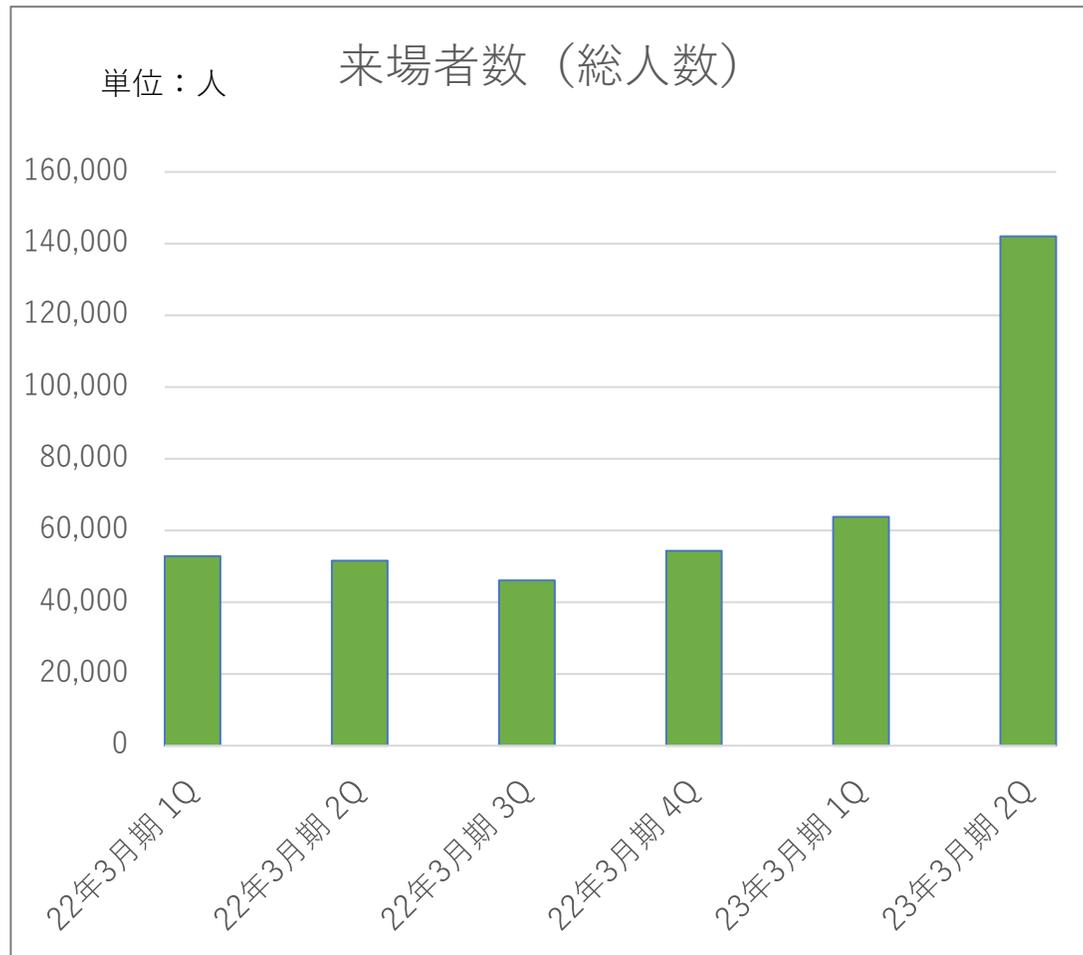
昨年度、コロナ前の業績を上回る回復を遂げ、9年目を迎えるイルミネーションは豪華さと立体感にあふれ、他とは異彩を放つ「グランイルミ～9thシーズン～」を23年11月11日よりスタート



- 「伊豆高原グランイルミ」は、2022年11月11日「第十回イルミネーションアワード」プロフェッショナルパフォーマンス部門において、3年連続で全国第1位を獲得
- Walker+全国イルミネーションランキングにおいて、7年連続第1位を獲得
- エネルギー価格の高騰による物価上昇下での経済的運営（安定収益）の確立を目指す
- 上記を下支えする今期の投資（予定）
想定効果 ○○%増（収入系）
○○%減（支出系）

【アニタッチ事業】

各テレビ局が、毎月のように「アニタッチ」を特集で取上げ紹介。
放送を重ねるごとに来場者数が増加。



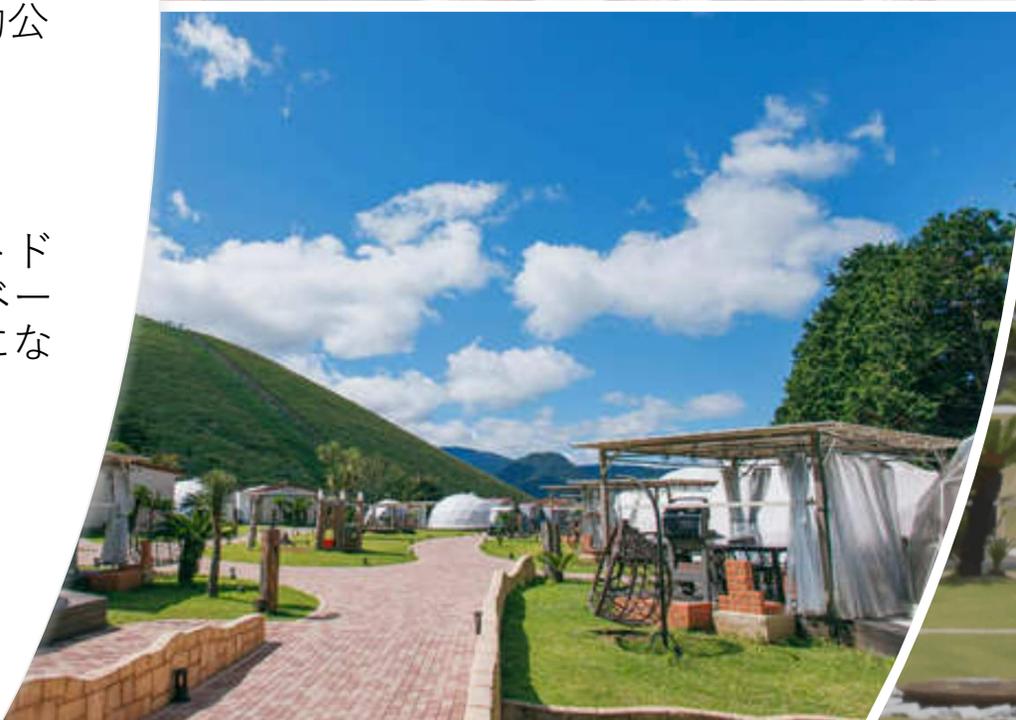
- 23年7月に、お台場（東京）店（4号店）オープン
- 23年11月に、静岡店（5号店）オープン
- 横浜店（1号店）の来場者数は年間20万人超
- テレビ放映（23年10月分）

「ドデスカ！」	名古屋テレビ
「朝だ！生です旅サラダ」	朝日放送テレビ
「さらさらサラダ」	NHK名古屋
「ダーウィンが来た！」	NHKなど
- 来場客単価は下がることなく安定成長。今後は単価UPにつながるサービスを展開予定
- 収益の見込める立地に今後も出店していく予定

【ホテル事業】

新たな事業として開始。

- 23年4月にスカイヒル伊豆高原ホテルがリニューアルオープン！
「～極上の癒しと眺めと～」
- 大室山と伊豆シャボテン動物公園がゼロ距離！
- ホテルのような設備とアウトドアの開放感、個々のプライベート空間を重視したこれまでにない『グランピング』



免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。
- これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性をふくむものです。当社としてのその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれらの将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は当社の情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。